

ユーラ・ギガ6 コントラストアロマスペシャル  
**Jura GIGA6-CAS 取扱いマニュアル**

ユーラ ギガ6-CAS ご使用に際して (重要事項)

本マニュアルは大切に保管してください。  
 また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検 (業務でご使用の場合)

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. クラリスフィルター / カルシウム除去

ボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐため、専用浄水フィルターの使用、または定期的なカルシウム除去作業が必要です。浄水フィルターまたはカルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきマシンの表示に従いお手入れを行ってください。

3. 毎日の洗浄

(コーヒーライン (業務でご使用の場合) / ミルクライン)

長くお使いいただくために専用洗剤による洗浄を毎日行ってください。毎日洗浄を行わなかった場合、メインユニットの寿命が半分程度になったりミルクが正しく出なくなる事があります。(ミルクラインは業務用・家庭用いずれの場合もご使用後毎日洗浄が必須です。)

洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は専用のものを販売代理店でご購入ください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。



ユーラ  
 コントラストアロマスペシャル  
 ユーザーサポート



該当機種のパージを選択してください

p.01 : ご使用に際して	p.08 : マシン洗浄
p.02 : 安全にお使いになるために	p.09 : ミルクシステムの洗浄
p.03 : 製品保証書	p.10 : ミルクシステム分解清掃
p.04 : 各部名称	p.11 : フィルター交換
p.05 : 抽出の準備	p.12 : CA 除去
p.06 : メニューの抽出	p.13 : メニュー設定変更
p.07 : 日常のメンテナンス	p.14 : こんなときは・トラブルシューティング
	p.15 : 機能一覧

## 安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

### 機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

●コンセントは、100V（ボルト）で機械一台あたり 15A（アンペア）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。

テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。

●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。

機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一 衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。

お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。

電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついてます。**

●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。アース線は次の場所に接続しないでください。

①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口

アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

### 日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 警告：トラブルがあったときの処置

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると**火傷や感電により死に至る**恐れがあります。

●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。

●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。

●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

●定期的の下記の点検を必ず行ってください。

①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。

②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。

③アース線が正しく接続されていますか。

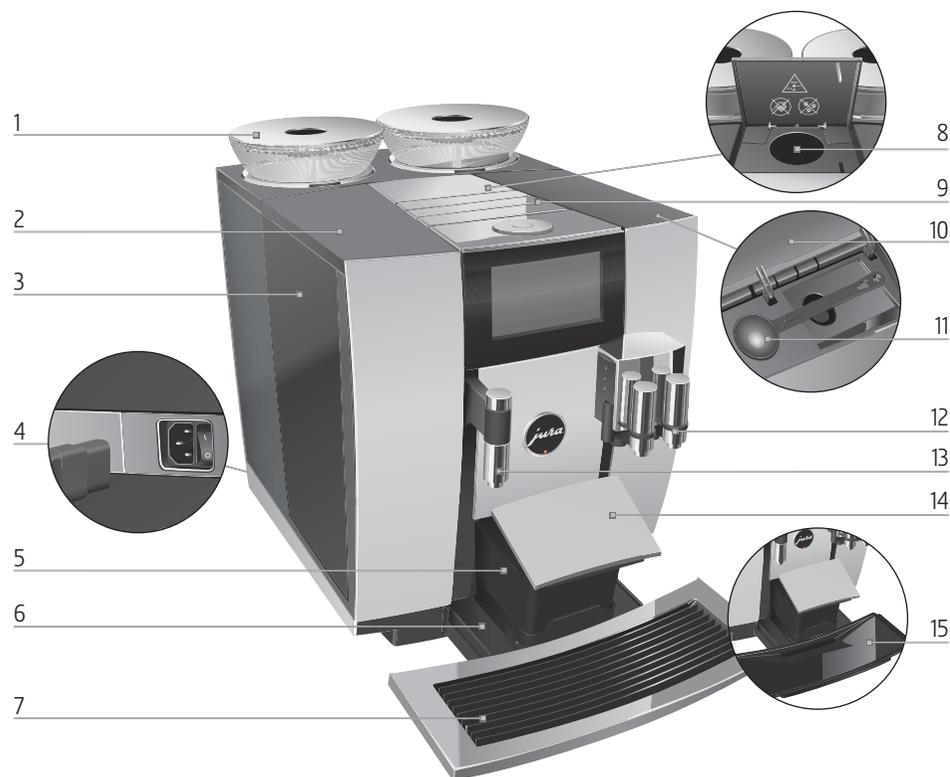
⚠ 注意：通電について

●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

⚠ 注意：設置環境について

●周辺温度が 30℃以上になる場所でのご使用はおやめ下さい。

# 各部名称



- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1: コーヒー豆コンテナ / アロマ保存カバー  | 9: ベンチレーションリブ (換気口)      |
| 2: 水タンクフタ                | 10: 備品入れカバー              |
| 3: 水タンク                  | 11: 粉コーヒー計量スプーン          |
| 4: 電源ケーブルのプラグイン (マシン背面)  | 12: コーヒー&ミルク抽出口 (高さ調節可能) |
| 5: カス容器                  | 13: 給湯ノズル (高さ調節可能)       |
| 6: 排水トレイ                 | 14: フロントカバー              |
| 7: カップグリル                | 15: 排水トレイ インサート          |
| 8: 洗浄タブレット投入口 (コーヒー粉投入口) |                          |

## 【ディスプレイ周辺】

- 1: ロータリースイッチ  
回して選択肢を表示  
ボタンを押して決定・保存・実行
- 2: オン/オフボタン
- 3: ディスプレイ



## 【スタートスクリーン】

画面 1 (スマートモード適用時: 表示メニュー数 5 または 2)

画面 2



ページ送りは画面下部の○をタッチ (スワイプでは動きません)

※その他のメニューはロータリースイッチを回転させると表示されます。  
※スマートモード OFF の場合は画面 1 も 8 種のメニュー表示となります。

## 【プログラム画面】

ロータリースイッチを押すと表示されます。

以下の機能を使用時に表示  
左から:

- クラリスフィルター
- スマートモード
- Wi-Fi
- 省エネモード

現在必要なお手入れが表示されます。

## 【マシン背面】

- 1: サービスカバー (指で押して開けます)
- 2: ロック装置
- 3: 豆容器シャッター
- 4: サービスソケット : スマートコネク



## 【同梱品】

- |               |                |             |
|---------------|----------------|-------------|
| クラリスフィルター x2  | 水硬度試験紙         | ミルク洗浄用コンテナ  |
| クラリス用エクステンション | ミルクホース + ジョイント | 変換プラグ       |
| 粉コーヒー計量スプーン   | フローサー抽出口先端部スペア | 洗浄剤試供品 (2種) |
|               | ジョイントスペア       | クリーニングクロス   |

## ▶抽出の準備

### 前提条件

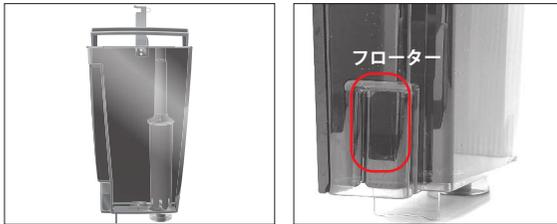
- ※水平かつ平滑で頑丈な場所に設置されていること
- ※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保（変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります）
- ※本コーヒーマシン専用の単相 100V 電源にプラグを挿入
- ※布や食器でベンチレーションリブ（換気口）を覆わないこと

## ①水タンクに水を入れる

水タンクカバーを開きます。

※電源ボタン部のカバーが開いていると水タンクカバーが開きません。水タンクを本体から取り外して水ですすいでください。新鮮な水道水をタンクに満たして本体にセット、水タンクカバーを閉じます。

※水位はタンク前面下部にあるフローターで検知します。汚れ等でフローターが固着すると正しい検知ができなくなるため、水タンクは毎日きれいに洗います。



### ご注意

- ※発泡水やミネラルウォーター、お湯などはマシン本体に損傷を与えたり設定した味を保てなくなります。必ず毎日汲み直した新鮮な水道水をご使用ください。
- ※水タンクをセットする際にはタンク下にコーヒー豆などの異物が落ちていないか都度確認します。またセットする際は本体にまっすぐ差し込みます。タンク下に異物があったり、タンクが斜めになっていると本体へ水がスムーズに供給されず「ロータリースイッチを押して下さい」と表示されることがあります。

## ②豆ケースに豆を入れる

アロマ保存カバーを取り外します。

豆容器内部の汚れや異物を確認しあれば取り除きます。コーヒー豆で豆容器を満たしアロマ保存カバーを閉じます。

### ご注意

- ※冷蔵庫・冷凍庫で保管している豆は常温に戻してご使用ください。
- ※添加剤（例えば糖やフレーバー）で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。豆コンテナには無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。
- ※豆ケースに誤って水を入れないよう十分ご注意ください。内部のグラインダーを損傷させる恐れがあります。異物や水はねの混入を防ぐため豆の充填時以外は必ずフタをして下さい。

## ③電源を入れる



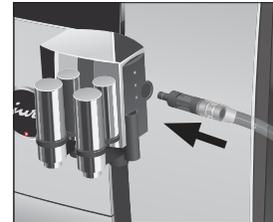
抽出口の下に排水受を置きます。  
マシン上部のオン/オフボタンを押します。

「ご利用ありがとうございます」  
「マシンをすすぎます」抽出口から少量のお湯が出ます。  
「加熱しています」

メニューアイコンが並んだスタートスクリーンが表示されます。

## ④ミルクの用意

抽出口右側のコネクタに  
ミルクチューブを接続します。  
もう一方の先端をミルクに  
差し入れます。



### ご注意

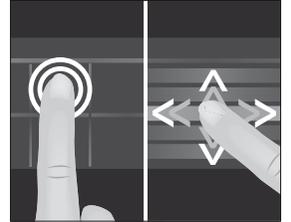
成分無調整の牛乳を使用してください。ロングライフ・ローファットは目詰まりの原因となります。牛乳を泡立てるための最も重要な要件は、4~8℃のミルク温度です。ミルククーラー（別売オプション品）のご使用をお勧めします。

## ◆基本操作

### ▶画面操作

【タッチ】  
メニューの抽出や項目選択等

【スワイプ】  
量の増減などの設定変更  
画面上で指を左右または上下に  
すべらせて指定します。  
※スタートスクリーン表示中は  
スワイプの操作はできません



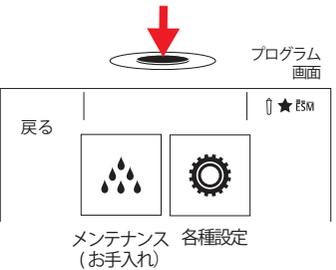
### スタートスクリーン

常時表示されている  
メニュー選択画面



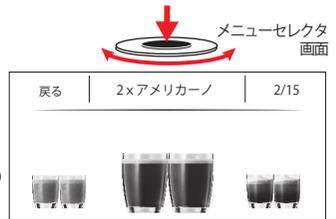
### ▶ロータリースイッチ

◎スタートスクリーン表示中  
【押す】メンテナンス&設定  
ができるプログラム画面へ  
【回す】メニューセレクト\*へ  
\*（スタートスクリーンにないメニューの  
表示画面）



### ◎メニューセクタ\*表示中

\*ロータリースイッチを回すと現れる  
メニュー画面)  
【押す】中央に表示された  
メニューの抽出  
【回す】メニューセクタ内の  
ページ送り



### ◎その他プログラム内各種画面表示中

【回す】ページ送りや選択肢の移動等  
【押す】決定

## ▶メニューの抽出

### 前提条件

抽出の準備ページを参照し、水、豆、ミルクの用意ができています。使用するカップ、グラスを用意し、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。



コーヒー、ミルク（を使用したメニュー）は右側の抽出口から提供されます。



熱湯は左側の給湯ノズルから提供されます。



2杯取メニューの場合は右側抽出口の下にカップを並べておきます。

抽出メニューは以下から選択できます。

- ◆スタートスクリーンから（2画面）
- ◆メニューセレクタから（ロータリースイッチを回す）
- ◆粉コーヒー（コーヒー粉投入口から）

### 全メニュー共通

いずれの場合も抽出中左上に表示される「キャンセル」ボタンを押すと抽出を途中でとめることができます。

### ご注意

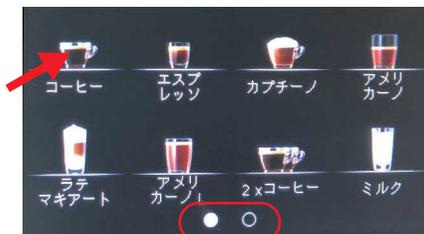
最後の抽出から5分が経過すると自動的に省エネモードに入ります。省エネモード中にメニューボタンを押すと豆を挽いた後に温度計の表示が現れマシンを再加熱します。加熱終了後にメニューを抽出しますのでそのままお待ちください。（省エネモードの解除→P15 機能一覧：省エネルギー参照）



## ◆スタートスクリーンから

抽出したいコーヒーメニューのアイコンをタッチします。

例：コーヒーの抽出



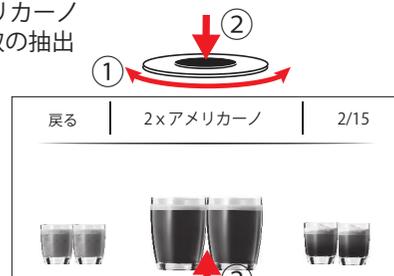
※画面中央下部○●にタッチすると次画面に移ります（全2画）

※スワイプでは画面変更できず、指が触れた近くのメニューが抽出されてしまう事がありますのでご注意ください！

## ◆メニューセレクタから

スタートスクリーンにないメニューはマシン上部のロータリースイッチを回転すると表示されます。抽出したいメニューを画面中央に大きく表示させた状態でロータリースイッチを押すか、メニューアイコンにタッチします。

例：アメリカン  
2杯取の抽出



※雑味をおさえ、すっきりした味わいを出すため、抽出量の多いアメリカン、アメリカンLはコーヒー+追加湯という構成で抽出されます。

## ◆粉コーヒーの抽出

コーヒー粉投入口カバーを開きます。  
「**コーヒー粉を入れてください**」  
付属の計量スプーンでコーヒー粉を入れます。※上限すりきり2杯まで  
「**コーヒー粉投入口を閉じます**」

抽出可能なメニューのみ点灯、ご希望のアイコンにタッチ。選択したメニューが設定量で抽出されます。



### ご注意

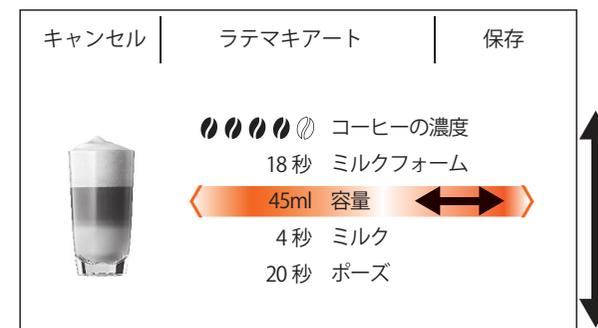
※粉コーヒー充填後1分以内に抽出ボタンを押して下さい。それを過ぎるとリセットされ充填した粉が廃棄されます。※充填量が不十分な場合「コーヒー粉が足りません」と表示され抽出がキャンセルされます。※中細挽きの粉をご利用下さい。挽き目の細かすぎる粉を使用すると目詰まりをおこしコーヒーがドリップトレイに流れでてしまいます。※粉コーヒーの抽出は都度粉を投入します。粉をためておく事はできません。※インスタントコーヒーはご使用になれません。

## ◆抽出中のメニュー調整

抽出中にコーヒーの濃さや量を変えることができます。

現在行われている動作がオレンジでハイライトされます。その間に画面をスワイプすると動作中項目の調整ができます。（コーヒーの濃さ、容量、ミルク（フォーム）秒数等）

例：ラテマキアートのコーヒー容量を変更する



コーヒーの抽出中「容量」がハイライトされている間にオレンジの部分のスワイプ（右＝増・左＝減）

※画面に見えていない項目を表示したい時は上下にスワイプします

最後に右上に表示される「保存」を押せば、次回からはその設定となります。「保存」を押さなければ元々の設定は変更されません。

※抽出中のメニュー調整では温度やアメリカン系の追加湯量は変更できません。

**本格的に各メニューの設定変更をしたい場合は  
P.13 メニュー設定変更をご参照ください**

# ▶ 日常のメンテナンス オペレーション中に良くでる表示とその対処方法、ご注意いただきたいこと

**メンテナンスアラート：**  
必要なお手入れがあることを示しています。  
表示されているお手入れを行います。

**必ず右記の  
純正・指定用品をご使用ください**  
指定外品の使用や  
お手入れを行わないことによるトラブルは  
保証を受けることができませんので  
ご注意ください。

**マシン洗浄**  
(毎日)→P08

※業務使用の場合は1日1回行  
うので通常は表示されません。

カフェラ・  
ウォッシュ  
60錠(業務用)→



Jura クリーニング  
タブレット(ご家庭用)

**ミルクシステム  
の洗浄(毎日)→P09**



Jura ミルクライン用洗剤  
ミニタブ(30回分)

**フィルター交換**  
→P11



Jura クラリススマート+  
浄水フィルター

**CA 除去**  
→P12



Jura カルシウム除去剤  
(3回分)

**右側容器に豆がありません**

**左側容器に豆がありません**

コーヒー豆が不足するとその豆を使用するメニューが暗転し抽出ができなくなります。暗転したメニューアイコンにタッチすると上記の表示が出るので指摘された側の豆容器のカバーを開けコーヒー豆を補充します(水気厳禁)

※豆を入れても次にグラインディングするまでこの表示は消えません。  
※メニュー抽出中にこの表示が出た場合、豆の補充後再度メニューボタンを押してください。

**水タンクに水を入れてください**

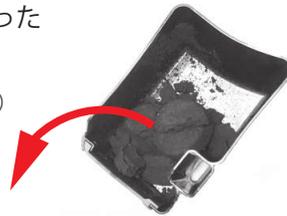
フタを開けて水タンクを取り外し、よくすすいでから新鮮な水で満たし本体に戻してください。

※電源ボタン部のカバーが開いていると水タンクカバーが開きません。  
※水タンクがまっすぐセットされているか、タンクと本体の間に豆などの異物が挟まっていないか確認してください。  
※水タンクは終業時によく洗い毎日新鮮な水に取り換えます。  
※本体から水タンクを外している間もこの表示が出ます。

**カス容器を空にしてください**

排水トレイをひきだし、カス容器にたまったコーヒーカスを捨ててください。

※カス捨ては電源がONの状態で行います。  
(電源OFF時におこなうとカウンターが狂うため)  
※トレイ及びカス容器を本体に戻すまで10秒以上間をあけてください。電源OFF時のカス捨てや、トレイを戻すのが早すぎるとカウンターがリセットされません。



排水トレイ取り出しの際は左右の抽出口を上へあげ、トレイ前端を軽く上へ持ち上げてから手前に引きます

**フロントカバーを閉じてください**

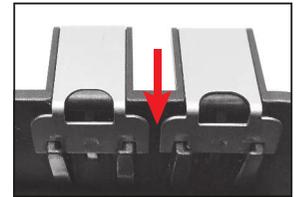
排水トレイを取り出す際に自動でカバーが開きます。トレイを戻した後にカバーを押して閉じてください。

**排水トレイを空にしてください**

左右の抽出口を上へあげてから排水トレイを手前に引きだし、中の排水を捨てます。

※右側抽出口上下動の際は必ず抽出口カバーの両サイドを持っておこないます。筒状のノズル部分を持って上下動を行うと破損の原因となります。

※排水トレイの一番奥には金属製の接点電極があります(右図参照)日頃よりこの部分を中性洗剤でよく洗いましょう。特に金属と金属のすき間や接点裏面も丁寧に、ブラシのようなもので洗い水気を良く拭き取ってから本体に戻します。



**排水トレイを挿入してください**

排水トレイを本体に戻します。  
※本体にセットしているのにこの表示が出る場合は部品が欠損している可能性があります。販売店にご連絡ください。

※カス容器の入れ忘れを指摘するアラートはありません。ご注意ください。

※本ページに掲載外のディスプレイ表示はP14「こんなときは」をご参照ください

# ▶ マシン洗浄 (コーヒーラインの洗浄)

毎日必須

約 20 分

Jura

## 必要なもの

洗浄タブレット  
(カフェラウオッシュ  
または  
Jura クリーニングタブレット)

×1錠



※水タンクに半分以上の水

汚れによるトラブル・故障を防ぐ為、業務にご使用の場合は  
終業後に毎日右記の手順で必ずマシン洗浄を行ってください。

画面に  マークが表示され、  
ロータリースイッチを押すと「マシン洗浄」の表示が出ている  
場合はマークをタッチして手順④にとんでください。



※マシン洗浄はおよそ 20 分かかります。

※マシン洗浄は中断しないでください。

洗剤分が残ったり汚れが完全に落ちない恐れがあります。

※CA 除去の表示が出ているとマシン洗浄ができません。

先に CA 除去作業 (P12) を終わってからマシン洗浄を行って下さい。

※洗浄タブレット・カフェラウオッシュはマシン販売店からご購入ください。

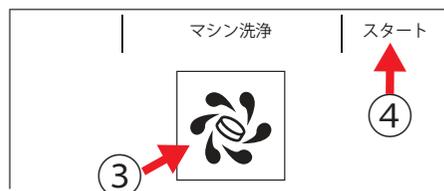
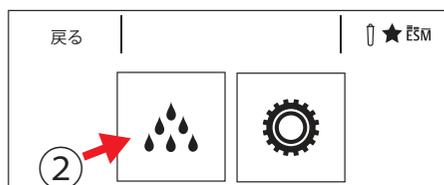
## ご注意

※販売店指定のカフェラウオッシュまたは Jura クリーニングタブレット (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のものを使用すると保証が受けられません。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

## 手順



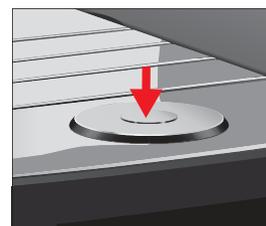
## ⑤ 「カス容器を空にしてください」

両サイドの抽出口を上にあげてから排水トレイを引き出します。  
排水とカスを空にして本体に戻し、フロントカバーを閉じます。



## ⑥ 「ロータリースイッチを押してください」

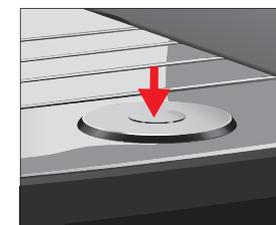
右の抽出口の下に排水受を用意し、ロータリースイッチを押します。「マシン洗浄中」



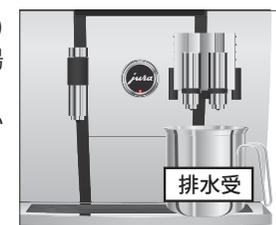
⑦ 「洗浄剤を入れてください」  
洗浄タブレット投入口のフタを開きます。  
洗浄タブレットを投入し、フタを閉じます。



⑧ 「ロータリースイッチを押してください」



⑨ 「マシン洗浄中」 (約 10 分)  
右の抽出口から洗浄のお湯が排出されます。  
※ヤケドにご注意ください



## ⑩ 「カス容器を空にしてください」

⑤と同様に排水トレイとカス容器を引き出し、中にたまった排水を捨て **中性洗剤** できれいに洗い、水分を拭き取り本体に戻してフロントカバーを閉じます。  
※ヤケドにご注意ください



## ⑪ 「クリーニングが終了しました」

【ミルクメニュー不使用の場合】

電源を切り水タンクをよく洗って水分を拭き取り、本体に戻して終了です。

【ミルクメニュー使用の場合】

続けて次頁のミルク洗浄を行います。

# ▶ ミルクシステムの洗浄 毎日必須 約5分



## 必要なもの

水タンクに半分以上の水

ミルク洗浄専用コンテナ  
(付属品)



ミルクライン専用洗剤  
ミニタブ



× 1push

または  
※ラテ・ウォッシュ

ミルクメニューを抽出した場合、  
**食品衛生の見地から、ミルクシステムのクリーニング  
(ミルク洗浄) を必ず毎日行なってください。**  
(洗浄を促すサインは出ません)

※ミルクシステムクリーニングはおよそ5分かかります。  
※ミルクシステムクリーニングは中断しないでください。  
※専用洗剤はマシン販売店からご購入ください。

## ご注意

※販売店指定のミルクライン用洗剤(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のものを使用すると洗剤成分がすすぎきれない可能性やマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

## 手順

① ロータリースイッチを押す

②  ミルクシステムの洗浄

③ 「次へ」

## ④ 「ミルク用洗剤」

Juraのロゴマークが見える状態でコンテナ手前側のスペースに洗剤を投入し右肩のラインまで水

(できればぬるま湯)を注ぎます。

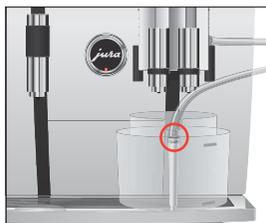
●専用洗剤ミニタブは容器をさかさまにして青い部分を押しと1回分の適量が出ます。※少々溶け残りができる事がありますが問題ありません。

※ラテ・ウォッシュをご利用の場合は同量の水に10mlを溶かし、同じ手順にて行います。



## ⑤ 洗浄液の入ったコンテナを

抽出口の下にセットし、ミルクチューブをコンテナ中央の穴に接続して「スタート」



## ⑥ 「ミルク洗浄中」

ミルクチューブが洗浄液を吸い上げ、抽出口を通り、排水がコンテナ後部に排出されます。

※洗浄液全量は使用せず多少残ります。

## ⑦ 「ミルクすすぎ用の水」

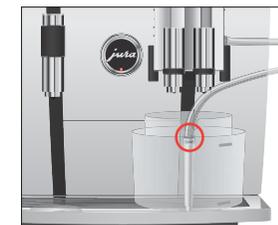
ピッピッ、と音になり、「ミルクすすぎ用の水」と表示が出ます。コンテナからチューブを外して中の排水を捨て、洗剤成分が残らないよう、よくすすぎます。

またコンテナの右肩のラインまですすぎ用の水で満たし抽出口の下にセット。



## ⑧ ミルクチューブを接続し「次へ」

ミルクチューブがすすぎ水を吸い上げ、抽出口を通り、排水がコンテナ後部に排出されます。



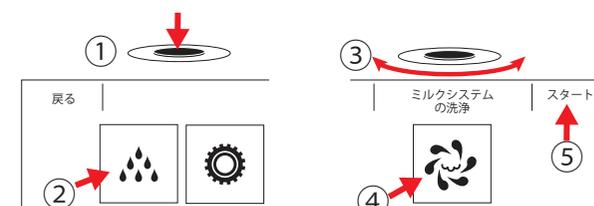
## ⑨ 「ミルクシステムの洗浄終了」

と表示が出て元の画面に戻ります。コンテナの排水を捨ててきれいにすすぎ終了です。 ※ヤケドにご注意ください

※続けて次頁のミルクシステム分解清掃を行います。

※クリーニングの表示が出ていなくても任意で行いたい場合はロータリースイッチ→メンテナンスキーからミルクシステムの洗浄を選択して実行してください

## 任意ではじめる場合



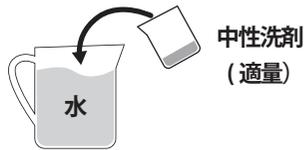
# ▶ ミルクシステム分解清掃

毎日必須

約 15 分



## 必要なもの



中性洗剤  
(適量)

衛生上の見地から、また、ミルクシステムの性能維持のため、ミルクを使用した場合はミルクシステムを**毎日分解清掃する必要があります**。(洗浄を促すサインなどは出ません)

## ご注意

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

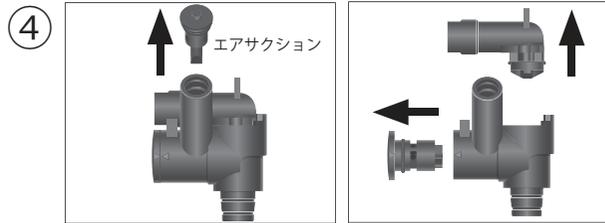
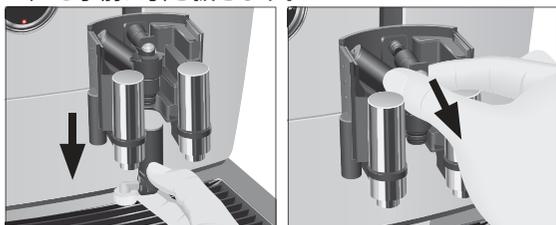
## 手順

- ① ミルクチューブを取り外し流水できれいにすすぎます。
- ② 銀色のカバー上部左右にあるリリースボタンを押しながら上方に引き上げるように外します。

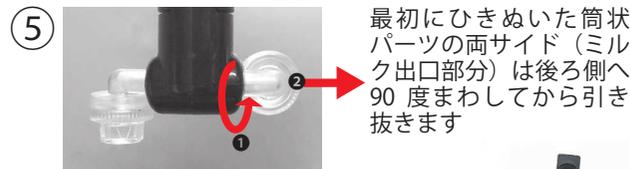


※カバーを外しているあいだは画面に「抽出ノズルがありません」と表示されます。

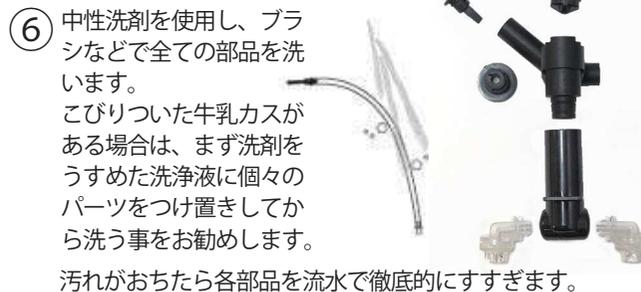
- ③ ミルクシステム下部の筒状部分を持ち、ゆっくりと慎重に下に引き抜きます。上に残った黒い部分(ミルクシステム)も手前に引き抜きます。



ミルクシステムを図のように4つのパーツに分解します。



最初にひきぬいた筒状パーツの両サイド(ミルク出口部分)は後ろ側へ90度まわしてから引き抜きます

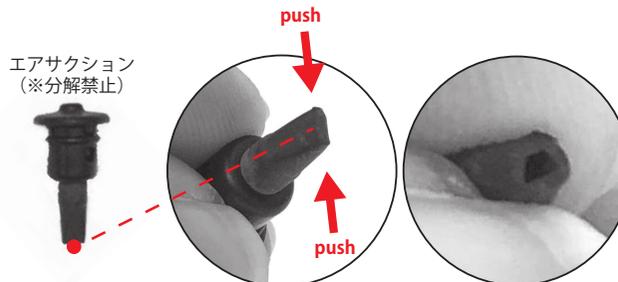


⑥ 中性洗剤を使用し、ブラシなどで全ての部品を洗います。こびりついた牛乳カスがある場合は、まず洗剤をうすめた洗浄液に個々のパーツをつけ置きしてから洗う事をお勧めします。

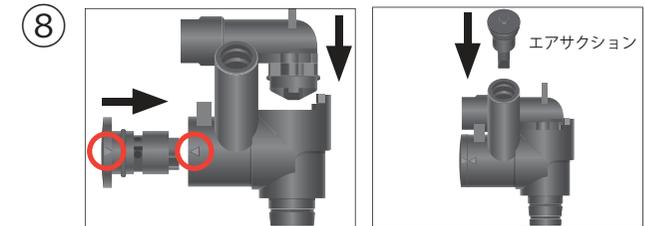
汚れがおちたら各部品を流水で徹底的にすすぎます。

- ⑦ 各パーツの水分をよく拭き取ります。組み立て前にエアサクション\*のゴム部分をよくもみほぐします。

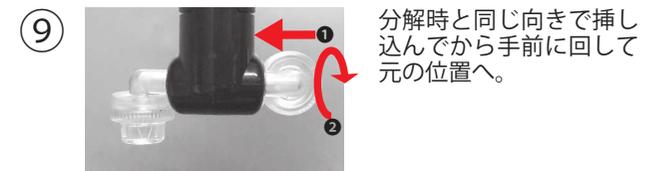
\*エアサクション=ミルクフォームをつくるための空気とり入れ部品。ゴムの口部分がはりついて開かないとミルクフォームがうまく作れません。



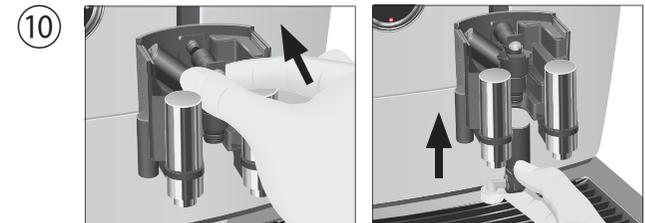
エアサクション  
(※分解禁止)



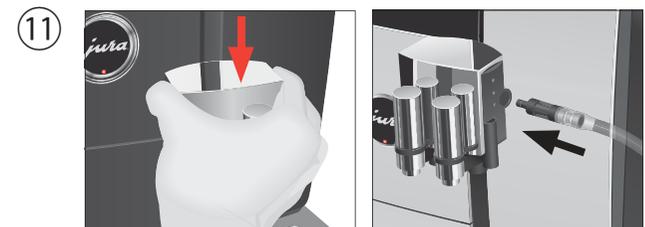
写真の赤丸の部分の矢印が合うように注意してミルクシステムを組み立て、エアサクションを確実に取り付けます。



分解時と同じ向きで挿し込んでから手前に回して元の位置へ。



⑧で組み上げたミルクシステム上部を抽出口に取り付けしっかりと抽出口背面に押し付けます。その後⑨で組み上げたミルクシステム下部を挿し込みます。



銀色の抽出口カバーを上から下方向へカチッと音がするまで差し込みます。「抽出ノズルがありません」の表示が消えます。最後にミルクチューブを右側の穴にしっかりと差し込んで終了です。

※組み立ての間違いや接続にゆるみがあるとミルクができませんのでご注意ください。

# ▶ フィルター交換 (※フィルター使用設定のお客様のみ)

表示が出たら

または

取付後 60 日



約 2 分

*Jura*

## 必要なもの

クラリススマートプラス  
浄水フィルター

× 1 本



フィルター  
エクステンション



クラリスフィルターは、水道水から不純物やカルキ分を取り除きコーヒーに最適な水を作り出すために開発された Jura コーヒーマシン専用浄水フィルターです。

※フィルター交換はおよそ 2 分かかります。

※フィルター交換は中断しないでください。

※フィルターはマシン販売店からご購入ください。

※販売店指定の浄水フィルターをご使用ください。指定以外のフィルターはご使用になれません。

フィルター交換の表示 (マークが赤くなる) がでていてもメニューの抽出はできますが、浄水能力のない状態での使用はマシン内部部品を傷めますのでなるべく早く交換をして下さい。

※交換のサインが出ていなくても 60 日が経過したら交換をして下さい

## 交換時期



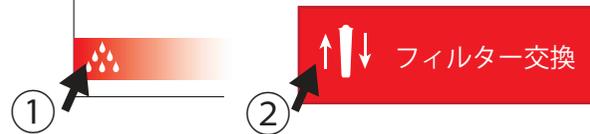
◎「フィルター使用限度です」  
「フィルター交換してください」と表示が出る。

◎画面右上のフィルターマークが赤くなっている

◎画面左下メンテナンスマークが部分が赤く点灯  
押すとフィルター交換表示が赤く点灯している。

◎フィルターをセットしてから 60 日が経過している。

## 手順



③ 「フィルターを交換してください」  
水タンクを取り外して中の水を捨て、フィルターおさえをひきあげて水タンクからフィルターを取り外し廃棄します。エクステンションに新しいフィルターをとりつけて水タンクにさしこみ、おさえを閉じます。



④ 水タンクに水を満たして本体に戻すとマシンが自動的に新フィルターを検出します。  
「フィルター使用」  
「フィルターすぎ」と表示されすぎの水がトレイに排出されます (約 1 分)

⑤ 「排水トレイを空にしてください」  
排水トレイを引き出して中にたまった排水を捨て、水分をよく拭き取って本体に戻します。

「フィルターのすぎ終了」  
と表示され、フィルター交換完了です。

## ご注意

※フィルターの取り外し・取り付けは必ず水タンクを本体から外した状態でおこないます。(水タンクをマシンにセットしたまま行うと認識されません。)

## ご注意

フィルター交換の表示が出てから、交換作業をせずにご使用水量が 10ℓ を超えると自動的に CA 除去の設定に変わります。CA 除去設定でのご使用を続け、CA 除去サインが出た場合は CA 除去作業を行わないとフィルター設定に戻すことができません。

サインが出ていてもコーヒー類の抽出はできますが、その他の作業 (洗浄等) ができなくなります。早めに CA 除去を行ってください。

## フィルター使用設定への戻し方

1. CA 除去
2. 「水タンクからフィルターを取り出してください」  
左項③を参照してフィルターを外し新しいフィルターはつけずに水タンクに水を満たして本体に戻します。
3. 「排水トレイを空にして下さい」  
ここからは P13 「CA 除去」の手順④～⑪を参照して作業をすすめてください。終了後一旦電源を切り、再度電源 ON。
4. CA 除去作業終了後左項③を参照してフィルターを取り付け、水タンクに水を満たして本体に戻します。  
「フィルター使用」  
自動的にすぎがはじまりますので以下左項④以降と同じ手順でフィルターのすぎを行います。

フィルター交換、CA 除去、いずれの場合もサインが出たら早めに作業をおこなってください。

# ▶CA 除去(カルシウム除去)

表示が出たら



約 40 分 (※クラリスフィルターをご使用でないお客様)



### 必要なもの



ご使用する水に含まれるカルシウム成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。最初に設定した水の硬度によりマシンは自動的にCA(カルシウム)除去洗浄を促します。

※CA 除去はおよそ 40 分かかります。

※CA 除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。

※専用除去剤はマシン販売店からご購入ください。

### ご注意

※販売店指定のカルシウム除去剤(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、残留物が飲料に混入する恐れやマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。

※カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石に付着した場合、損傷を与える恐れがあります。付着してしまった場合は直ちに洗い流してください。

### 警告

カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

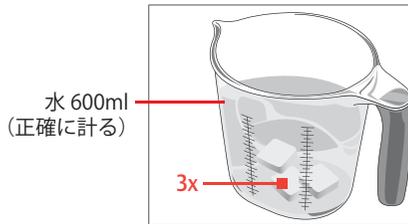
### 作業時期

◎「CA 除去してください」と表示が出る。

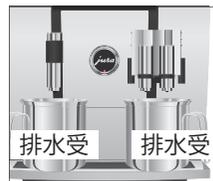
◎画面左下メンテナスマークが部分が赤く点灯押すと CA 除去表示が赤く点灯している。

### 手順

- ①
- ② CA 除去
- ③ 「水タンクからフィルターを取り出してください」  
フィルターおさえをひきあげ、水タンクからフィルターを取りはずします。
- ④ 「排水トレイを空にして下さい」  
排水トレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。
- ⑤ 「CA 除去剤を水タンクに入れます」  
水タンクをマシンから外して空にします。正確に計った水 600ml とカルシウム除去剤を 3 個入れた溶液をつくり、水タンクに注ぎます。



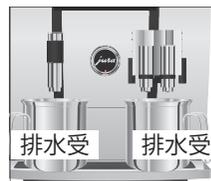
- ⑥ 左右の抽出口の下に排水受を用意します。除去剤が溶けた事を確認し、水タンクをマシンにセットします。



「ロータリースイッチを押してください」

- ⑤⑥ ※水タンクを本体にセットしたまま行ったり本体へ戻すのが早すぎると次の段階に進めません。外してから 10 秒以上は間隔をあげ、除去剤が溶けてから本体に戻してください。

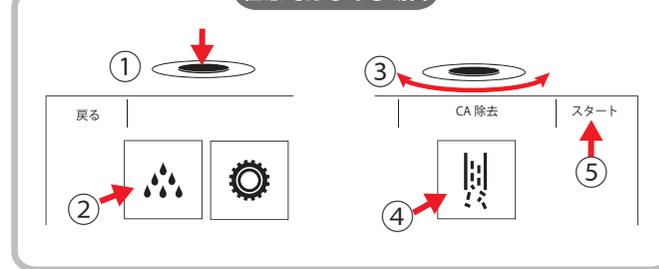
- ⑦ ロータリースイッチを押すと「マシン CA 除去中」と表示され排水が断続的に排出されます。
- ⑧ 電子音が鳴り「排水トレイを空にしてください」排水トレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。
- ⑨ ここからすすぎに入ります。「水タンクをすすいでください」「水タンクに水を入れてください」水タンクを取り外し、除去剤成分が残らないよう充分にすすいでください。新鮮な冷たい水で水タンクを満し、再度マシンにセット、左右の抽出口の下に排水受を用意します。



- ⑩ 「ロータリースイッチを押してください」
- ⑪ 「マシン CA 除去中」
- ⑫ 「排水トレイを空にしてください」排水トレイとコーヒーカス容器を空にして中性洗剤できれいに洗い、水分を拭き取って本体に戻します。
- ⑬ 「CA 除去が終了しました」  
「フィルターを取り付けてください」  
フィルター不使用の場合は「フィルター無し」を選択して完了。フィルター使用の場合は P12 を参照し新しいフィルターを挿入します。※古いフィルターは使用できません。  
※CA 除去作業は必ず最後まで行ってください。



### 任意ではじめる場合





## ▶こんなときは・トラブルシューティング



ディスプレイ表示	原因および結果	解決方法
抽出ノズルがありません	抽出ノズルまたはカバーが外れています。	確実に取り付けてください(P.10 ⑩参照)
コーヒー粉が足りません	コーヒー粉の量が充分ではありません。 マシンは動作を中止します。	付属の粉コーヒー計量スプーン(最大2杯) をご使用ください
背面カバーを閉じて下さい	マシン背面のサービスカバーが正しく装着されていません。 マシンは動作を中止します。	サービスカバーを正しく装着してください。(P.4参照)

トラブル	原因および結果	解決方法
ミルク・ミルクフォームの量が足りない ミルク・ミルクフォームが出ない	◎抽出口が汚れています。 ◎温度設定がマッチしていない可能性があります。 ◎ミルクシステムの接続がきちんとできていない。 ◎エアアクションの清掃不足、お手入れ不足、劣化。	◎ロータリースイッチ→メンテナンスキーからミルクシステムの洗浄をおこなってください。 ◎ミルク温度は10段階の指定域がありますが、ミルクの種類や元の温度など諸条件によって抽出が影響されます。温度設定が高いとミルクが出ない場合があるため実際にご使用になるミルクで事前に抽出の可否をご確認ください。(出ない場合は低めの温度設定を推奨) ◎P10を参照し組み立てが正しいか、接続にゆるみがないかご確認ください。 ◎エアアクションのお手入れ(P10⑥⑦)または交換
コーヒーが滴る程度しか出なくなった	◎グラインダーの挽目が細かすぎます。 ◎コーヒー抽出フィルターの目詰まり。	◎グラインダーの挽目を粗く調整してください ◎コーヒーのフィルターをかわいた布巾で拭き取ります(販売店にご連絡ください)
豆容器が空になっているのに 「豆がありません」の表示が出ない	豆容器が汚れてモニターが正しく働いていません。	乾いた清潔な布などで豆容器内を拭いてください(水分厳禁)
豆容器に豆が入っているのに 「豆がありません」の表示が出て抽出できない 「排水トレイを空にしてください」 と常に表示される	◎豆容器のシャッターが閉じている可能性があります。 ◎フィンガーガードにあたって豆がうまく落ちていない。	◎背面のサービスカバーを外して左右の豆シャッターがいっぱいに開いているか確認してください。 ◎金属製のスプーン等でコンテナ内のコーヒー豆を下に向かって流しこんでみてください
水が入っているのに「水タンクに水を入れてください」と表示される	排水トレイ後端の金属接点汚れているか濡れています。	金属接点の表裏および2枚の接点の間を中性洗剤等で洗い、乾いた布で水滴を拭き取ってください。 →P07日常のメンテナンス
水が入っているのに「水タンクに水を入れてください」と表示される	水タンク内のフローター固着(P05①参照)	水タンクは日頃より定期的になんらかの中性洗剤を使用しきれいに洗ってください
ERROR2または5	加熱不良。長時間寒い場所に蔵置されると安全上再加熱されなくなります。	一旦電源を切り、マシンが室温になるまでお待ちください。 電源をいれなおしても解消しない場合は販売店にご連絡ください。
ERROR16	ベンチレーションリブ(マシン上部換気口)に異物等が挟まり開閉できない状態です。	豆やゴミなどが挟まっていれば取り除きます。 ベンチレーションリブの上には物を置かないようにしてください。
ERROR6または7 ERROR8	マルチバルブ位置不良。 抽出ユニット位置不良。	至急販売店にご連絡ください。 (電源を落としてプラグを抜き、数分後再び電源を入れるとしばらく使用できる場合があります。)
ERROR11～14	グラインダー不具合。	電源を落とし販売店にご連絡ください。可能であれば何番のエラーかをお知らせください。
ERROR〇〇の表示		電源を落とし販売店にご連絡ください。可能であれば何番のエラーかをお知らせください。

# GIGA6-CAS 機能一覧

操作	プログラム画面	項目表示	設定項目	選択項目(マークをタッチまたはロータリースイッチを押して実行)	内容/設定範囲	備考	進行	通常画面へ		
ロータリースイッチを押す 		画面をスワイプまたはロータリースイッチを回して次項目を表示	<input type="checkbox"/> ミルクシステムの洗浄	マークをタッチ→スタート→洗浄実行	P09を参照して実行。 <b>ミルクを使用した際は必ずその日のうちに洗浄をおこなってください。</b>					
			<input type="checkbox"/> マシン洗浄	マークをタッチ→スタート→洗浄実行	P08マシン洗浄を参照して実行		<input type="checkbox"/> スタート <input type="checkbox"/> キャンセル			
			<input type="checkbox"/> フィルター交換	マークをタッチ→交換実行 (交換時期になると画面右上のフィルターマークが赤に変更)	P11フィルター交換を参照して実行 <b>マークが赤くならなくても取付から60日が経過した場合は交換をしてください。</b> 交換時、新品でないフィルターをセットしても反応しません。					
			<input type="checkbox"/> CA除去	マークをタッチ→スタート→CA除去実行	P12CA除去を参照して実行		<input type="checkbox"/> スタート <input type="checkbox"/> キャンセル			
			<input type="checkbox"/> すすぎ	マークをタッチ→すぐにすすぎ実行	右の抽出口の下に排水受を用意。 マシンすすぎ→ミルクシステムすすぎが順番に行われます。		キャンセル不可			
			<input type="checkbox"/> メンテナンス情報	お薦めする日々のお手入れについて表示			戻る			
			<input type="checkbox"/> 表示ロック	タッチスクリーンの清掃時、画面が反応しないようにロックします。ロータリースイッチを押すとロック解除→スタート画面へ						
			<input type="checkbox"/> オフまでの時間	スイッチ切時間設定	最後の抽出から15分後、30分後、1時間後～(以降1時間きざみ)9時間 (初期設定30分)※非設定不可					
			<input type="checkbox"/> 時刻	時間設定	現在時刻をキーで入力					
			<input type="checkbox"/> 日付	日付設定	本日の日付をキーで入力					
			<input type="checkbox"/> タイマー	曜日別または毎日 オン/オフ時刻指定	マシンスイッチオン/オフ時刻をキー入力	非アクティブ=タイマー指定なし。 設定済のタイマーを消したい時は時刻を消去→非アクティブ				
			<input type="checkbox"/> 挽き粗さ設定	左グラインダー 右グラインダー	5段階から選択 (初期設定:中間)	保存または戻るで左右指定変更				
	<input type="checkbox"/> 省エネルギー	オフ(O)/オン(I)	出荷時オン:最後の抽出から5分後にヒーターがスリープ状態に							
	<input type="checkbox"/> スマートモード		出荷時オフ:オンにすると抽出頻度の高いメニューが初期画面に表示されるようになります(オン=画面右上に★マーク) オフ選択するとメニュー名は出ず、アイコンのみの表示となります							
	<input type="checkbox"/> メニュー名									
	<input type="checkbox"/> 初期設定に戻す	<input type="checkbox"/> はい/ <input type="checkbox"/> 戻る(=キャンセル)	<input type="checkbox"/> 工場出荷時設定に戻す	<input type="checkbox"/> 「はい」を選択すると自動で電源OFF。次回起動時英語表記(要言語選択)		<input type="checkbox"/> 保存 <input type="checkbox"/> 戻る				
	<input type="checkbox"/> 単位表記	ml/oz	液量単位表記変更							
	<input type="checkbox"/> 時刻表示方法	24hrs / AM・PM	AM・PM指定の場合はタイマー設定時に12以上の時刻入力不可、AM・PMキーを押して指定							
	<input type="checkbox"/> 表示設定	ディスプレ-明るさ調整	10～100%(スワイプして指定)							
	<input type="checkbox"/> 水の硬度	<input type="checkbox"/> □□□□□ 1～5dH	試験紙 付属の硬度試験紙で実際に使用される水の硬度を調べて設定ください。							
	<input type="checkbox"/> (INACTIVE 不可)	<input type="checkbox"/> ■□□□□ 6～10dH								
		<input type="checkbox"/> ■■□□□ 11～15dH								
		<input type="checkbox"/> ■■■□□ 16～20dH								
		<input type="checkbox"/> ■■■■□ 21～25dH								
		<input type="checkbox"/> ■■■■■ 26～30dH								
	<input type="checkbox"/> 言語の選択	独/英/仏/伊/蘭/西/ポルトガル/ロシア/スウェーデン/ポーランド/エストニア/日本語から選択 出荷時日本語設定								
	<input type="checkbox"/> Wi-Fi接続	アクセサリーの電源を入れてください								
<input type="checkbox"/> アクセサリー接続	アクセサリーの電源を入れてください					出荷時オフ設定。ご利用になる場合はご相談ください。	<input type="checkbox"/> 接続 <input type="checkbox"/> 次へ(=キャンセル)			
<input type="checkbox"/> システムを空に	マークをタッチ→スタート	マシン内部の水抜き	輸送時や寒冷地での保管などが必要な際に行います					<input type="checkbox"/> スタート <input type="checkbox"/> 戻る(=キャンセル)		
<input type="checkbox"/> 合計抽出杯数	全体と各メニューごとの抽出杯数を表示(全3ページ)									
<input type="checkbox"/> お手入れ回数	各種お手入れ回数を表示									
<input type="checkbox"/> バージョン	ソフトウェアのバージョン表示									

戻る